

対策困難箇所事例報告書

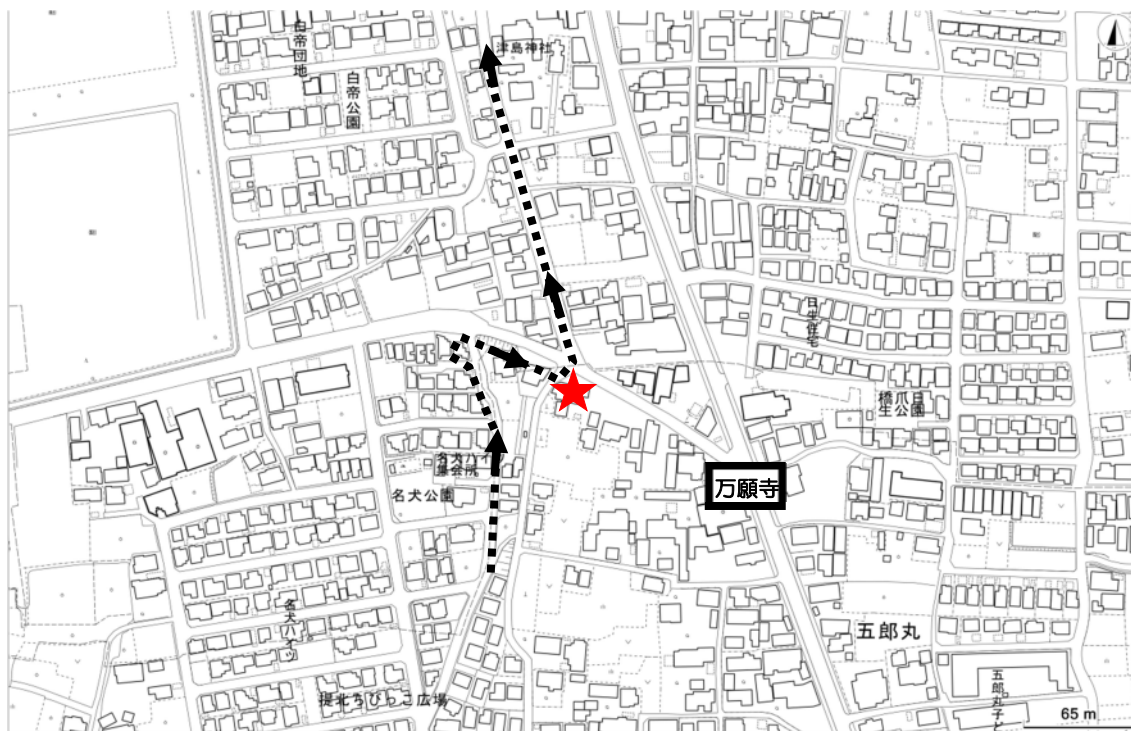
市町村	事例No.	危険箇所
犬山市	3	万願寺交差点変則四叉路

1 危険箇所の状況

■危険箇所の状況

現場は、近くに大きな工場があり、朝の通勤・通学時間に交通量が多い。また道幅がさほど広くない箇所であり、特に交差点付近では、歩道も狭く、ガードレール等の設置も難しいため、大変危険な状況である。

■通学路地図



■ 現場写真

A 登校時



B 現状



2 市町村連絡協議会における意見

■道路管理者（道路維持課）

- ・四叉路までの交差点区間、路面に赤色塗装を施工し、運転手に注意を促している。
- ・歩道部分の道幅拡張はむずかしく、ガードレール設置もむずかしい。

■学校教育課

- ・歩道部分にグリーンベルトを設置することで、運転手に通学路であることの注意勧告を行う予定。

■市役所防災安全課

- ・登校時、下校時に生徒の誘導や車への注意喚起を行うための、スクールガードを配置している。

■アドバイザー

- ・西側から交差点に進入した場合、道幅が狭いため、グリーンベルトを設置するなど道路標示をすることも効果的である。
- ・短時間ではあるもののたいへん危険な箇所であることは、十分理解できるものの、スクールガードも配置されていることから、現状維持のまま利用するという発想も必要。

3 対策（案）

■学校教育課

- ・西側から四叉路までの区間、グリーンベルト塗装を実施した。

■学校

- ・児童生徒への交通安全指導の徹底を継続して実施。